

愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	インターンシップA		
担当者(Instructors)	手嶋 慎介	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択
実務家教員科目(Pro teacher course)			

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

授業科目（『キャリア体験』）等における事前指導の後に、一般企業やNPOなど各自で決定したインターンシップ先において就業体験をして、各自で立てた目標を達成する。インターンシップ内容はインターンシップ先によって異なるが、日々の業務内容を理解しつつインターンシップ先の担当者から指導を受ける。夏期休暇中の2週間前後のインターンシップ（標準的には、土、日を挟んで実質10日間）を済ませた後にレポート等の提出をする。「社会で働く」実体験を経験し、自らのキャリアについて自己決定できるようにする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	実験・実習
授業の方法(Class method)	実習形式で行う。原則、夏期休暇中に行う。事前事後指導など、リモート授業として行う場合もある。
当該科目と実務との関係(Relationship between course and practice)	企業等の採用・就職活動の最前線に立つキャリア支援センターの教職員によって科目支援が行われる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	事前訪問準備・アポイント	事前訪問準備を行い、インターンシップ先にアポイントをとる。	<input type="checkbox"/>
第2回	事前訪問	インターンシップ先に事前訪問を行う。	<input type="checkbox"/>
第3回	実習初日	インターンシップ先における初日のオリエンテーションなどに参加する。	<input type="checkbox"/>
第4回	実習2日目	2日目のインターンシップを行う。	<input type="checkbox"/>
第5回	実習3日目	3日目のインターンシップを行う。	<input type="checkbox"/>
第6回	実習4日目	4日目のインターンシップを行う。	<input type="checkbox"/>
第7回	実習5日目（中間チェック）	5日目のインターンシップを行う（中間チェック）。	<input type="checkbox"/>
第8回	実習6日目	6日目のインターンシップを行う。	<input type="checkbox"/>
第9回	実習7日目	7日目のインターンシップを行う。	<input type="checkbox"/>
第10回	実習8日目	8日目のインターンシップを行う。	<input type="checkbox"/>
第11回	実習9日目	9日目のインターンシップを行う。	<input type="checkbox"/>
第12回	実習最終日	最終日としてインターンシップを行う。	<input type="checkbox"/>
第13回	まとめ	インターンシップ内容のまとめを行う。	<input type="checkbox"/>
第14回	事後訪問準備・アポイント	事後訪問準備を行い、インターンシップ先にアポイントをとる。	<input type="checkbox"/>
第15回	事後訪問	インターンシップ先に事後訪問を行う。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前に社会の動向に関心を持ちインターンシップ前日および当日のニュース記事を読むなど情報収集を行う（30分程度）。事後として、1日のインターンシップを終えたら、各自でインターンシップの振り返りを行い、翌日以降の目標を確認する（30分程度）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

インターンシップ先あるいはキャリア支援センターの教職員から学生個々に随時フィードバックをし情報共有をする。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)		
区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019全学共通DP2	基礎学力を踏まえた専門知識と自らのキャリア体験を基に、創造的に考えたうえで、課題についての的確に判断し、自在に表現、発信することができる。

■成績評価(Evaluation method)				
筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			30%	70%
授業内試験等(具体的内容)(Specific contents) インターンシップ事前・事後指導の参加態度およびインターンシップ参加申請書などレポートの提出				

■テキスト(Textbooks)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	古閑博美・牛山佳菜代編著・手嶋慎介 他著 (2023) 『最新インターンシップーニューノーマル時代のキャリア形成ー』 学文社	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)		
No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	岡野絹枝編・手嶋慎介 他著 (2019) 『よくわかる社会人の基礎知識』 ぎょうせい	
2	日本インターンシップ学会東日本支部監修・手嶋慎介 他著 (2017) 『インターンシップ実践ガイド』 玉川大学出版部	
3		
4		
5		